

令和2年度第2回岡山市総合教育会議

日 時：令和2年8月25日（火）

午後3時30分～

場 所：市庁舎 第3会議室

会 議 次 第

1 開 会


2 協議事項

・教育の情報化について

3 閉 会

現状

- 授業でコンピュータなどのICTを毎日使用する児童生徒の割合 H31 小5.6% 中3.8%
<全国学力・学習状況調査>
- 授業にICTを活用することのできる教員の割合 H30 小・中・高67.6%
<学校における教育の情報化の実態等に関する調査>



100%

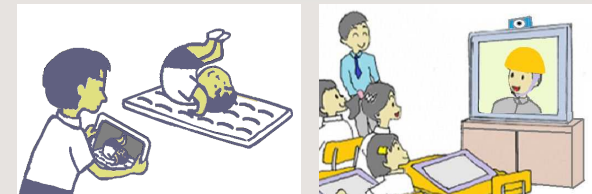
目指す授業の姿

ICTを効果的に活用することによって、児童生徒が自分で考え、議論し、表現する場面を取り入れた授業

- ◆大型提示装置や一人一人のタブレットへの教材提示による興味・関心を高める学習活動
- ◆インターネットを活用した探究活動
- ◆撮影・再生機能を活用してより深く分析・考察する活動
- ◆プレゼンテーションソフトを活用し自分の考えを発表する表現活動
- ◆大学や企業の方などとの多様な考えに触れる遠隔交流活動
- ◆学習状況に応じて自分のペースで進めることができる個別学習

情報モラルの向上

プログラミング的思考の育成



学校は、年1回以上ICTを活用した授業づくりについての研修を行う。

教育委員会は、ICTを活用した授業づくりについての好実践例をまとめたICT活用事例集を作成し、周知する。

さらなる学力の向上

タブレットPC等のICTを効果的に活用した授業の研究

高島中学校の現在



生徒は、教師の説明を資料で確認しながら聞いています。



ベテラン教師も、ICTを使う習慣がついています。

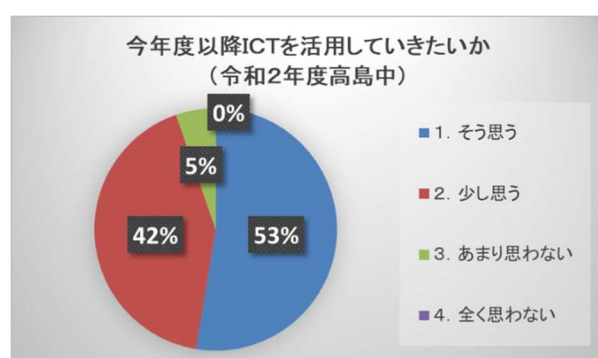
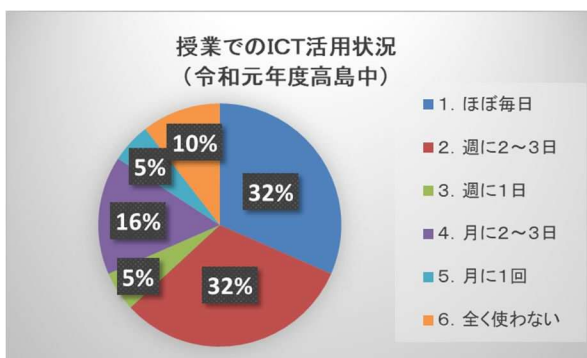


若手教師が、自主的なタブレット研修会を行っています。

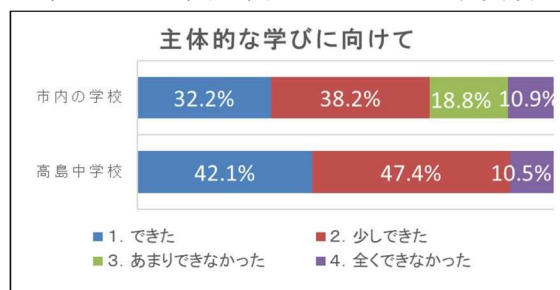


ICTの教育効果（教員アンケートから）

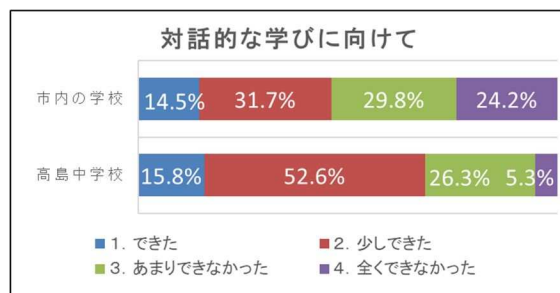
○高島中学校の教師は、多くの授業で教材提示装置やタブレットを活用しています。



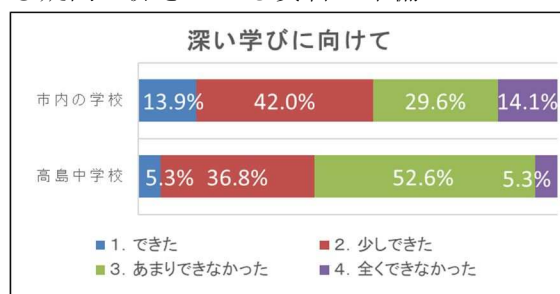
○学ぶことに興味関心が持てるよう資料を提示



○考えを広げ深められるよう話し合う場の設定



○疑問が沸き上がる資料の準備



【主体的な学び】

- ・資料を拡大し、説明・チェックがスムーズに行えた。時間短縮につながった。
- ・教材提示装置で教師の手元の作業などを分かりやすく提示することができた。
- ・情景描写で生徒がイメージしにくい部分を写真・動画で編集して紹介した。
- ・生徒が行う会議の様子を録画し、会議の進め方を振り返る活動を行った。

【対話的な学び】

- ・生徒作品やワークシートをその場で撮影し、その授業で映して見せて話し合いをすることができた。
- ・タブレットを用いて、グループで調べたり、問題を協力して解いたりした。

【深い学び】

- ・鑑賞の授業で、様式の変容や、同じ作者の作品の変容、同じテーマの作品について時代による表現の違いなどを提示し、問題意識を持たせることができた。

成果・課題

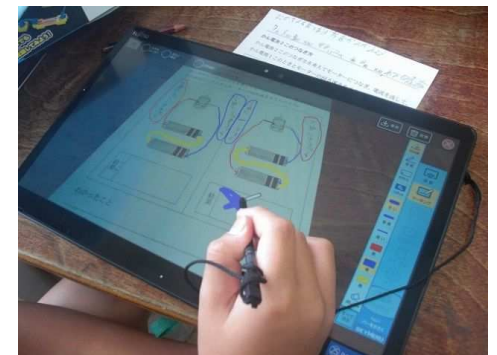
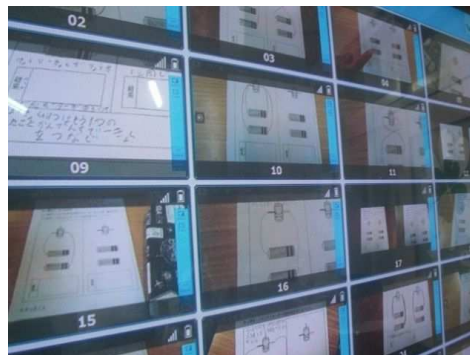
- すぐに用いることができる教師用タブレットがあることで、日常的な使用が進んだ。
- 教師の年代やICT機器の使用経験にとらわれず、使用の定着や活用への意欲が見られる。
- 生徒がICTを使用する授業を当たり前と感じ、授業内容に興味を持つ姿が見られる。
- ▲教科の特性上、ICTを活用しにくい教科がある。
- ▲使用が先に立ち、生徒の学力の向上に結びついていない場合もある。
- ▲ICT環境が不十分なため、使用に制限がある。
- ▲トラブル発生時に授業者がすぐに対応しにくい。

今後に向けて

1. 教師のスキルの向上
 - ・教師の使用から生徒の使用、個別学習・協働学習等目的に応じた活用等
2. 効果的な活用を実現するための環境整備
 - ① ICT機器の円滑な動作
 - ② ネットワーク環境整備
 - ※サーバーとネットワーク環境の強化 (Wi-Fi と LAN ケーブル等の適切な整備)
3. 人的支援 (ICT指導への支援、トラブルや環境整備への支援)
4. 将来を見据えたICT活用の方向性と、課題に向けての取組
 - ・生徒の資質・能力の育成に向けた教師の指導力の向上と、そのための環境整備
 - ・学校と家庭が連動したICT活用が可能な環境整備

一人一人の能力や適性に応じて個別化された学びの実現

一人一台端末環境による表現活動の充実(授業の様子)



①自分の考えを端末で撮影する。

②端末で撮影されたみんなの考えをモニターに提示する。

③一人一人の考えについて話し合う。

④話し合いの後に自分の考えを修正する。

表現する



認め合う



思考する



深める

ICTの教育効果(児童アンケートから)

ICT（パソコンやテレビ）を使った授業は、ICTを使わない授業と比べてどうでしたか。

1 と思う 2 少し思う 3 変わらない 4 あまり思わない 5 全く思わない

	1	2	3	4	5
集中して取り組むことができた (%)	53.6	30.4	10.8	3.1	2.1
この授業で何をするのか分かりやすかった (%)	61.6	26.8	7.8	3.4	0
授業が楽しかった (%)	67.2	19.8	9.1	2.9	1.0
勉強した内容がよく分かった (%)	55.2	25.5	11.9	4.1	3.4
積極的に話し合いができた (%)	27.4	27.4	27.1	9.3	8.8

<平福小学校（2年～6年） ICTを活用した教育の効果に関する児童アンケートより 令和2年7月>

一人一台端末環境



一人一人の表現活動の充実による学力の向上

学びのポートフォリオによる自己肯定感の高まり